

1、過去20年間の入試改革

神奈川県公立高校では、直近20年間で下記の改革が行われてきました。

開校年度		新しい高校(学科)の募集開始	主な入試改革	
県立高校改革推進前期計画	横浜市立高校再編整備計画	2004年度	<p>横浜旭陵(都岡・中沢が統合) 三浦臨海(初声・三崎が統合) 小田原【単位制普通科】(小田原・小田原城内が統合) 川崎【フレキシブルスクール】(県立川崎・川崎南が統合) 鶴見総合(平安・寛政が統合) 横浜清陵総合(清水ヶ丘・大岡が統合) 金沢総合(富岡・東金沢が統合) 麻生総合(柿生西・柿生が統合) 藤沢総合(長後・藤沢北が統合)</p> <p>市立東, 市立桜丘, 市立金沢がそれぞれ単位制普通科に移行</p>	<p>▶推薦・一般が前期選抜・後期選抜に移行</p> <p>▶一般の複数志願制を廃止し、C値による選考を中心とした後期選抜となる(調査書:学力検査=6:4)</p> <p>※県立高校改革推進前期計画が終了</p>
		2005年度	<p>厚木清南【フレキシブルスクール】(厚木南が移行)</p> <p>神奈川総合産業【単位制】(相模台工業・相模原工業技術が統合)</p> <p>【コース新設】 西湘(理数コース)</p>	<p>※県立高校改革推進後期計画開始</p> <p>▶県立高校の学区撤廃</p> <p>▶調査書:学力検査の比率が「6:4」~「4:6」から選択可能に</p> <p>▶調査書と学力検査の重点化が可能に</p> <p>▶学校独自問題での選考が可能に(横浜翠嵐, 平塚江南, 外語短期大学付属が導入)</p>
		2006年度	六ツ川(普通科一般コース), 湯河原が募集停止	<p>▶学校独自問題導入校が拡大(小田原, 鎌倉)</p> <p>▶観点別評価の評定が3学年のみから2・3学年の併記に</p>
		2007年度	磯子工業, 向の岡工業, 平塚商業の定時制がそれぞれ定時制総合学科高校に移行	▶学校独自問題導入校が拡大(湘南, 柏陽, 横須賀)
		2008年度	<p>横浜緑園総合(岡津・和泉が統合) 茅野総合(秦野南が丘・大秦野が統合, 定時制総合学科を併設) 横浜国際(六ツ川・外語短期大学付属が統合) 横須賀明光(国際・福祉)(久里浜・岩戸が統合) 海洋科学(三崎水産が移行) 小田原総合ビジネス(小田原城東・湯河原が統合) 弥栄(国際・スポーツ科学・芸術・理数)(弥栄東・西が統合) 横浜修悠館(湘南・横浜平沼の通信制課程を集約, 和泉高校跡地に設置)</p>	▶学校独自問題実施校が拡大(光陵, 多摩)
		2009年度	<p>座間総合(栗原・ひばりが丘が統合) 市立横浜サイエンスフロンティア(新設) 横浜栄(上郷・港南台が統合) 平塚湘風(神田・五領ヶ台が統合) 湘南【定時制単位制普通科】(湘南【定時制】が移行) 平塚中等教育学校(大原が移行) 相模原中等教育学校(相模大野が移行) 田奈・釜利谷・大楠がクリエイティブスクールに移行</p>	▶クリエイティブスクール…前期選抜の募集枠が最大80%。後期選抜は学力検査を行わず、面接と自己表現活動を実施
		2010年度	川崎工科(川崎工業が移行) 藤沢清流(大清水・藤沢が統合) 相模原青陵(相武台・新磯が統合) 吉田島総合(吉田島農林が移行) 相模向陽館(多部制定時制高校を開校, ひばりが丘高校跡地に設置) 愛川が連携型中高一貫校へ移行/市立金沢が学年制へ移行	▶学校独自問題実施校が拡大(市立横浜サイエンスフロンティア)
		2011年度		
		2012年度	市立桜丘が学年制へ移行/市立南が中高一貫校を開校【コース新設】 光陵(中高一貫コース) 大原, 相模大野が募集停止	
		2013年度	<p>【学科新設】 津久井(福祉コースの募集を停止し, 福祉科を新設)</p> <p>【コース改編】 磯子(国際ビジネス→グローバルコミュニケーション) 山北(体育→スポーツリーダー) 有馬(外国語→英語)</p> <p>【学科改編】 平塚農業(生産流通科→農業総合科) 中央農業(生産流通科→農業総合科) 相原(環境土木科→環境緑地科, 商業科・情報処理科・国際経済科→総合ビジネス科) 平塚商業(商業科・情報処理科・国際経済科→総合ビジネス科) 厚木商業(商業科・情報処理科・国際経済科→総合ビジネス科) 商工(商業科・情報処理科・国際経済科→総合ビジネス科, 機械科・電気科・化学科→総合技術科)</p> <p>市立南が学年制に移行</p> <p>市立横浜総合が横浜市南区大岡(大岡高校跡地)に移転</p>	<p>▶前期・後期選抜を一本化し, 1回のみ共通選抜を実施(学校独自問題は廃止)</p> <p>▶各校の特色に応じ, 特色検査(自己表現検査・実技検査)が実施可能に</p>
2014年度	市立川崎の全日制が併設型中高一貫校を開校し, 定時制が二部制に移行【コース・学科新設】 市立戸塚(音楽コース) 市立横浜商業(スポーツマネジメント科) 横浜明朋(多部制定時制高校を開校, 港南台高校跡地に設置)			
2015年度	※市立東で予定されていたスポーツコースの設置は見送りに			
県立高校改革推進後期計画	2016年度		※県立高校改革実施計画 I 期開始	
	2017年度	市立横浜サイエンスフロンティアが併設中学を設置 大師, 横浜清陵(横浜清陵総合を校名変更), 横浜緑園(横浜緑園総合を校名変更)が単位制普通科に移行	▶記号選択式問題でマークシート方式を導入	

	開校年度	新しい高校(学科)の募集開始	主な入試改革
県立高校改革実施計画Ⅰ期	2017年度	大井、大和東がクリエイティブスクールに移行 横浜桜陽がフレキシブルスクールから単位制普通科に移行 【専門コースの募集停止】綾瀬西(福祉教養) 有馬(英語) 生田(自然科学) 磯子(グローバルコミュニケーション) 荏田(体育) 西湘(理数) 高浜(福祉教養) 山北(スポーツリーダー) 横浜南陵(健康福祉) 【学科改編・新設】厚木北(スポーツ科学コース→スポーツ科学科) 上矢部(美術陶芸コース→美術科) 白山(美術コース→美術科) 横浜国際(国際情報科→国際科) 吉田島(吉田島総合を校名変更し、総合学科→専門学科[都市農業科、食品加工科、環境緑地科]) 弥栄(国際科、芸術科、理数科→普通科・音楽科・美術科) 小田原東(小田原総合ビジネスを校名変更し、普通科を設置) 市立幸(川崎市立商業を校名変更し、普通科を設置) 市立川崎総合科学(定時制に商業科を設置)	
	2018年度	三浦臨海・平塚農業初声分校(昼間定時制)が統合し、三浦初声に磯子、相模原青陵、横須賀明光(国際科)、平塚農業初声分校が募集停止	
	2019年度	【学科改編・新設】横浜国際(国際科→国際科・国際バカロレアコース) 吉田島(生活科学科)	▶自己表現検査を県の共通問題・選択問題で実施(横浜翠嵐・湘南など7校)
県立高校改革実施計画Ⅱ期	2020年度	横須賀南(横須賀明光・大楠が統合) 横浜水取沢(水取沢・磯子が統合) 相模原弥栄(弥栄・相模原青陵が統合) 平塚農商(平塚農業・平塚商業が統合) 高浜(定時制を併設)	※県立高校改革実施計画Ⅱ期開始 ▶自己表現検査を県の共通問題・選択問題で実施(学力向上進学重点校・学力向上進学重点校エントリー校の17校) ※一部マークシート方式を導入
	2021年度	瀬谷西、逗子、相模原総合、市立川崎(普通科)が募集停止 【学科新設】神奈川総合(舞台芸術科)	
	2022年度	【学科改編・新設】横須賀工業(建設科) 海洋科学(単位制一学年制、海洋科学科→船舶運航科・水産食品科・無線技術科・生物環境科)	▶自己表現検査を県の共通問題・選択問題で実施(学力向上進学重点校・学力向上進学重点校エントリー校の18校) ※横浜国際が追加
	2023年度	瀬谷・瀬谷西が統合し、横浜瀬谷に逗子・逗葉が統合し、逗子葉山に城山・相模原総合が統合し、相模原城山に	

2、2024年度以降の改革予定

2024年度以降で確定している改革は下記のとおりです。

	開校年度	新しい高校(学科)の募集開始	主な入試改革
県立高校改革実施計画Ⅲ期	2024年度 現在中学3年生が受検	厚木東・厚木商業が統合し、厚木王子に	※県立高校改革実施計画Ⅲ期開始 ▶定分割選抜の日程繰り下げ、二次募集廃止 ▶共通選抜・定分割選抜の面接を廃止し、面接は特色検査として実施 ▶共通選抜の第1次選考では、調査書(評定)・学力検査の比率の範囲を2～6→2～8に変更し、第2次選考では、調査書の「主体的に学習に取り組む態度」の評価も選考資料に
	2025年度 現在中学2年生が受検	【コース改編】二俣川看護福祉(看護科→普通科) 横浜旭陵、永谷、深沢が募集停止	
	2026年度	田奈・麻生総合が統合し、新校に 小田原城北工業・大井が統合し、新校に	
	2027年度	旭・横浜旭陵が統合し、新校に 横浜桜陽・永谷が統合し、新校に 藤沢清流・深沢が統合し、新校に	